



自衛隊栃木地方協力本部

井頭公園50周年記念イベント

『はたらくくるま大集合！』で自衛隊広報展を開催



自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3陸佐）は、11月10日（日）、井頭公園敷地内駐車場で開催された『はたらくくるま大集合！』において、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を行った。

このイベントには自衛隊、警察、消防、建設機械重機などの働く車が一堂に集結し、働く車の魅力を知ってもらうための体験型展示に、多くの来場者が訪れ楽しんでいった。当日は、人数制限のある試乗体験を希望する来場者が、早朝から会場に押し寄せ、整理券を求めて長い列ができる様子が見受けられた。広報展では、輸送防護車及び軽装甲機動車の展示、制服試着体験、VR体験、階級章・徽章展示、射的コーナー、自衛隊飯レシピ紹介等を行った。特に、普段は見ることのできない珍しい2台の車両展示は会場内でも来場者の注目を集め、制服試着をしたまま軽装甲機動車上によじ登り、それぞれポーズを決めて写真撮影をする来場者の列が途絶えることなく終日賑わっていた。初めて自衛隊車両の展示を見たという30代の男性は、「車両の大きさと迫力に驚きました！多機能な車両を間近で見たことは貴重な体験でした。この大きな車両を運転できる自衛官の運転技術に脱帽します！」と感想を述べていた。また、友人同士で子供を連れて遊びにきたという女性は「自衛隊の制服を着た、とても可愛い子供たち」と、迫力ある大きな車のアンバランスな感じがいいですね。思い出に残る写真が撮影できました」と笑顔を見せていた。パイロットの目線体験ができるVR体験コーナーでは、ゴーグルを装着した子供達が「わあ！すごい！」などの声をあげ、操縦の疑似体験を楽しんでいた。

真岡募集案内所は「地域の子供たちに、さまざまな職業の『働く車両』の重要性を伝えるとともに、自衛隊との親しみを深める絶好の機会となった。参加者が車両展示を通じて異なる職業の役割を理解し、将来の「自衛官への道」への興味関心に繋がることを期待したい」としている。

